

ひびき

山梨県立甲府支援学校

TEL 055-226-3322

URL <http://www.yogoy.kai.ed.jp/>

朝夕のさわやかな風に秋を感じますね。一年の中でも過ごしやすい季節。学校では運動会をはじめ、様々な行事が予定されているかと思います。

さて今回は、外部専門家についての紹介と、肢体不自由のあるお子さんの学習面に関する困難さを理解した指導・支援についてお伝えします。皆様の教育活動の一助となれば、幸いです。

本校では、
8名の外部専門家が
支援を行っています

<PT(理学療法士)>

高村 裕子先生
荒井 望 先生
服部 慎 先生
五味 亮子先生

<OT(作業療法士)>

高見澤 幸恵 先生
伊東 仁香 先生
木村 千優 先生
森 佳蓮 先生



理学療法士、作業療法士の専門性の違いについてご質問を受けることがあります。以下にまとめましたので、今後、相談の際の参考にしていただけたらと思います。

	理学療法士 (PT)	作業療法士 (OT)
主な支援内容	立つ・座る・歩くなど、基本的な体の動きを助ける	食事・着替え・遊び・学習など、日常生活の動作を助ける
対象となる動き	大きな動き	細かい動き(巧緻運動)や行動の組み立て
支援目的	動ける体を作る	その子らしい生活ができるようにする
かかわる場面	姿勢保持、歩行練習、筋力・関節のケア	手の使い方、生活動作の工夫、道具の使い方、感覚の調整
相談事例	◎授業中、姿勢が崩れやすい ◎体育の授業への参加方法や配慮の仕方について相談したい	◎字が極端に大きくなってしまい、ノートが書けない ◎トイレでのズボンの上げ下げや必要な動作が難しい

7月29日に、肢体不自由特別支援学級担当者学習会を本校で開催しました。
本校の外部専門家、木村OTが「子ども達との学習を考える～学習の土台と体験からの気づき～」と題して、実際に子どもたちの気持ちを理解するための体験を交えて、
県内の肢体不自由特別支援学級の先生方に講演をしました。その一部を抜粋してお伝えします。

肢体不自由児に起こりやすいこと

- ・筋緊張（筋肉の張り）の適度な調整が難しい
- ・感覚のフィードバックが得られにくい（前庭覚、固有受容覚、触覚）
- ・疲れやすい
- ・注意が逸れやすい

運動のコントロールが難しい

- ・枠に合わせた文字を書けない
- ・文字をバランスよく書けない
- ・書くことに時間がかかる

姿勢調整・姿勢保持が難しい

- ・目的の場所に視線を動かす、視線を切り替えることが苦手
- ・姿勢が崩れて手元が見えにくい
- ・手先の操作や道具操作（両手操作）が難しい
- ・二重作業が難しい（聞きながらメモをとる等）



具体的な対応を考える【読みについて】

一般的な考え方

- ① 読みやすいものを準備
 - ・助詞で区切るなど単語のまとまりを分かりやすくする
- ② 内容を理解しやすくする
 - ・文章を読み上げたり、デジタル教科書等を使用したりする
 - ・文章を読む前に関連する動画などで内容を掴んでおく
 - ・分からない言葉の意味を一緒に調べたり、その場で伝える

追加で確認したいこと

- ・文字の大きさ ・ 行間の広さ
- ・字体（ゴシック体＞明朝体）
- ・UDフォントが読みやすい
- ・使用する用紙（光の反射）

- ・絵などで提示する
- ・生活経験と繋げて説明する



外部専門家の活用、本校特別支援教育コーディネーターによる訪問支援は随時行っています。
お気軽にお問い合わせください。

山梨県立甲府支援学校 地域支援係
TEL 055-226-3322
e-mail chiikishien@yogoy.kai.ed.jp
URL <http://www.yogoy.kai.ed.jp/>